

ツイッターと iPhone による高齢者見守りシステム 「とくったー」の開発

事業のポイント

- 高齢者見守りシステム
- iPhone / ツイッター / アプリ開発
- NPO 徳島インターネット市民塾
- 総務省ICTふるさと元気事業

事業代表者・連絡先

吉田 敦也 (地域創生センター・センター長)
770-8501 徳島市新蔵町2-24
tel: 088-656-7651 fax: 088-656-7652
e-mail: yoshida@cr.tokushima-u.ac.jp



(図1)

1. 地域 NPO からの事業委託

地域創生センター（地域ICT化推進部門）では、地域課題解決のための地域支援技術開発、ICT活用モデル構築、社会適用コンサルティングを行っている。特に、平成21年度からは学生を中心としたiPhoneアプリ開発プロジェクト（RIG0プロジェクト）を実施しており成果をあげてきた。また、徳島市中心市街地商店街にはサテライトオフィスを設置し、平成21年度地方の元気再生事業「ブロードバンド徹底活用1000人塾」を実施。その成果として“とくしまプログ村”を開設した。こうした経験と実績から、NPO 徳島インターネット市民塾より、高齢者見守りシステム「とくったー」の開発を委託された。

徳島インターネット市民塾は地域情報化と生涯学習を推進する徳島県内のNPO(特定非営利活動法人)であるが、そもそも徳島大学が実施した文部科学省地域貢献特別支援事業の活動から組織されたものであり、平素より連携/協働する関係にある。

「とくったー」は、総務省平成22年度ICTふるさと元気事業として実施されているもので、スマートフォン（iPhone）とツイッターなど先端ICTを活用してコミュニケーション型の高齢者見守りを実現しようとするものである。従来、高齢者の見守りは、カメラやセンサーなどを使った「監視」、あるいは、自治体職員や民生委員による個別訪問で実施されることが主流である。一方、とくったーでは、ツイッターによるオープンでパブリックな「つぶやき（ツイート）」を使うことによって、地域社会全体で見守る。かつ、それを、モバイルインターネットメディアiPhone（スマートフォ

ン）を使い、アプリの形で提供することから、高齢者にも簡単でわかりやすい、しかも、魅力的で「やってみたい」と思う見守りシステムとなっている。

徳島など、中山間地域の多い地方の高齢者の孤立を防除するにきわめて有利でユニークな見守りシステムとなりうる可能性を秘めているが、これを開発/実装/稼働させるために地域創生センターの技術力と地域連携の積み重ねが不可欠な要素となった。

さらに、とくったーでは、先端ICTを活用することにより、一人暮らしの高齢者を見守るばかりでなく、地域社会のコミュニケーションを活発にし、ネットワーク化を拡大することから、徳島市中心市街地商店街の活性化、楽しく元気で活力あるまちづくり、高齢者にやさしく、住み良いまちづくりにも寄与することを目指しており、地域創生センターの理念と合致した。

2. 開発概要

1. 見守りiPhoneアプリ開発
 - ・挨拶と健康状態を2タッチでツイートする
 - ・高齢者向けインターフェースの開発（図1）。
2. 見守りサーバーシステム開発
 - ・見守りツイートのログ収集と蓄積
 - ・データ分析から高齢者の状況把握と通知

3. 報道実績

新聞掲載

- 2010/06/22 読売新聞ツイッターでお年寄り見守り
2010/08/03 NHK おはよう日本(全国放送)
2010/10/15 NHK おはよう日本(全国放送)

スマートフォンとアプリの活用による 地域力向上プログラムの開発と実践

事業のポイント

- スマートフォン(iPhone)アプリ活用
- 地域力向上プログラムの開発
- 地域活性化ネットワーク形成支援
- 子育て中の主婦／一歩前に出られない若者の背中押し

事業代表者・連絡先

吉田 敦也 (地域創生センター・センター長)
770-8501 徳島市新蔵町2-24
tel: 088-656-7651 fax: 088-656-7652
e-mail: yoshida@cr.tokushima-u.ac.jp



(図1) iPhoneアプリ開発・活用講座での地域力形成の3ステップ



(写真1) iPhoneアプリ開発入門講座



(図2) 開発した iPhoneアプリ「牧野植物園ガイド」

1. 高知県 NPO からの事業委託

地域創生センターでは、平成21年度より、徳島大学大学院SAS研究部と共同でiPhoneアプリ開発プロジェクトmake.app（メイクアップ）を実施しており、「とくしまWEB大賞2010」e-ネタ部門において準大賞を受賞するに至っている。

こうした地域ICT化推進とアプリ開発の実績から、NPOとさはちきんねっとより、スマートフォンとアプリの活用による地域力向上プログラムの開発と実践の委託を受けた。

とさはちきんねっとは、女性、特に、主婦たちが中心になって活動するNPO（特定非営利活動法人）であり、『“私おこし”で地域おこし』をキャッチフレーズに、ICT化を背景にした地域活性化、そのためのSOHO、テレワークを支援している。平成21年度地域づくり総務大臣表彰を受けており、高知県を代表するNPOである。地域創生センターとは、四国の活性化、ICT利活用推進活動などで連携/協働するパートナー関係にある。

委託された「スマートフォンとアプリの活用による地域力向上プログラムの開発と実践」は、総務省平成22年度ICTふるさと元気事業として実施されている「とさはちきんねっと『お母さんのためのタッチ&ケア』の一部である。

2. 開発概要

本事業では、「ICT活用力の向上」「実践学習」「地域を動かす」の3つをねらいとし、iPhoneアプリ開発講座と、アプリ活用フィールドワークを行った。また、地域活動のためのネットワーク形成支援ツールとして、地域課題解決型アプリ3点の開発を行った。(図1)

2-1. iPhoneアプリ開発入門講座

地域リーダークラスを対象に初心者向けのiPhoneアプリ開発入門講座プログラムを開発・実践した。到達目標は、iPhoneアプリ開発の始動、全国ヘリアルタイム情報発信するプラットフォームの自作。講師は徳島大学大学院生が担当した（写真1）。

2-2. iPhoneアプリ開発体験講座

本講座では、①iPhoneアプリ開発体験、②アプリを使った現場での情報共有。到達目標は、ICTツールの活用により、個々人の発見・記録を地域づくりへつなげる手法の習得。ワークショップは、牧野植物園、室戸岬、高知城下の三か所にて実施した。

2-3. 地域課題解決型iPhoneアプリ

本事業では、次の3つのiPhoneアプリを開発した。

●「牧野植物園ガイド」アプリ

高知県立牧野植物園を案内するもので、入園者、住民がリアルタイムに制作参加/協働できる(図2)

●「お遍路てくてくガイド」アプリ

高知県室戸付近のお遍路案内で、地元住民がお遍路さんと対話しながら地域情報を日々追加できる。

●「高知お城下トイレマップ」アプリ

高知市を訪れる観光客や住民のためのトイレ案内。災害時一時避難所情報でもあり、住民が更新できる。

3. 報道実績

2010/06/22 四国放送テレビ

2010/08/03 NHK総合テレビ おはよう日本

2010/09/28 NHK徳島テレビとく6徳島

2010/10/15 NHK総合テレビおはよう日本